

森林に触れる機会をもつと！ 森林文化教育フォーラム宮崎、諸塚村大会が開催されました

「森林（もり）と人との融合」「自然の力を活用した人の英知による森林（もり）づくり」をテーマに、第12回森林文化教育フォーラムが7月30日と31日の2日間にわたり村内で開催されました。

30日は県内外から300名が参加して、中央公民館で講演とパネルディスカッションが行われ、31日は現地検討会として村内の林業関係施設の見学や説明が行われました。

特別講演では、本村の甲斐重勝さんが「自治公民館活動と村づくり」と題し、自治公民館組織で行われてきた村づくりを紹介しました。

また、宮島寛九州大学名誉教授をコーディネーターに「森林と子ども達、その間をつなぐには」と題して5名のパネラーによりパネルディスカッションが行われ、貴重な意見が交わされました。

現地検討会は、家代公民館の複層林の見学や水見のしいたけ団地での椎茸狩りを体験するなど村外からの宿泊者50名を中心に実施されました。

特別講演の甲斐重勝さん。自らの体験などを元にされた説得力を持った話に皆さん聞き入っていました。

第12回 森林文化教育フォーラム —宮崎・諸塚村大会—



特別講演



パネルディスカッション

パネルディスカッション、横浜から1ターンして本村に住む高野さんも、パネラーとして参加し、貴重な意見を述べられました。



複層林 視察

家代の帯状複層林を視察中の参加者。たくさんの方が出されていました。

8月9日(土)ふれあいの森周辺を中心に「もろつか夏祭りぎやあな祭2003」が開催されました。

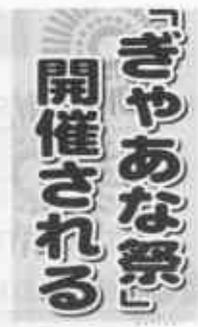
午前中は小原神社での神事のあと、御神輿行列がカラー舗装された道を練り歩き、途中婦人会による踊りを挟んだり、みこしや担ぎ手に浴道から水を掛けたりと非常に活気のある行列でした。

午後は3時からふれあいの森駐車場に設置した特設ステージを中心に、ぎやあな祭2003が行われました。実行組合對抗のゲームや、神楽、駄

賃つけ唄といった郷土芸能、優勝賞金5万円をめざし個人や団体が日頃磨いた「芸」を競うなんでも「芸大会」で盛り上がりました。なんでも一芸大会ではそれぞれにコスチュームなどにも趣向を凝らし、観客の声援を受けていました。

最後に、去年よりグレイドアップした打ち上げ花火が夏の夜空を彩り、今年のぎやあな祭を締めくくりました。

商工会、観光協会、諸塚公民館が一体となって盛り上げたすばらしい祭でした。



賞つけ唄といった郷土芸能、優勝賞金5万円をめざし個人や団体が日頃磨いた「芸」を競うなんでも「芸大会」で盛り上がりました。なんでも一芸大会ではそれぞれにコスチュームなどにも趣向を凝らし、観客の声援を受けていました。

最後に、去年よりグレイドアップした打ち上げ花火が夏の夜空を彩り、今年のぎやあな祭を締めくくりました。

商工会、観光協会、諸塚公民館が一体となって盛り上げたすばらしい祭でした。

賞つけ唄といった郷土芸能、優勝賞金5万円をめざし個人や団体が日頃磨いた「芸」を競うなんでも「芸大会」で盛り上がりました。なんでも一芸大会ではそれぞれにコスチュームなどにも趣向を凝らし、観客の声援を受けていました。

最後に、去年よりグレイドアップした打ち上げ花火が夏の夜空を彩り、今年のぎやあな祭を締めくくりました。

商工会、観光協会、諸塚公民館が一体となって盛り上げたすばらしい祭でした。



第17回ふれあいつり大会開催される



8月17日(日)しいたけの館21下、柳原川河川敷で、商工会青年部主催で、恒例となったふれあいつり大会が開催されました。

当日は早朝からあいにくの雨でしたが、受付前から入場者が列を作り、村外や県外からも多くの釣り客が訪れ、約400名の参加者でした。

8000匹放されたマスが、次から次に釣られる光景が見られ、中には60匹以上釣り上げた人もいたようです。

大物賞とラッキー賞が用意されており。大物賞は38cmから39cm級のマスを釣り上げた3名に、ラッキー賞は事前にピンクの糸を付けて放されたマスを釣り上げた7名の方に渡されました。

11時頃から始まったウナギ、アユ、コイのつかみ取り大会は、子供よりも大人の方が興奮して、逃げるウナギなどと格闘している姿が見られました。



郡婦人バレーボール大会が開催されました

八月十七日門川町で平成十五年度東白杵郡地域婦人バレーボール大会が開催され、本村の代表として塚原部会が出場しました。

二つのパートで予選が行われ、塚原は、門川町、東郷町と対戦した結果、門川町に二一〇で、東郷町には二一で惜しくも敗れました。

なお、優勝は門川町で、準優勝は北郷村でした。塚原の会員の皆さん、村の大会から郡体までの長期間、暑い中での練習お疲れさまでした。また、応援いただいた地区のみなさんありがとうございました。



諸塚村職員の給与の状況等を公表します

1 人件費の状況(普通会計決算)

単位:千円

区 分	人 口	歳出決算額 (A)	実質収支	うち人件費 (B)	人件費率 B/A(%)
平成14年度	15,411 2,193	千円 4,486,209	千円 132,253	千円 521,122	% 11.6

(注) 人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。

2 職員給与の状況(普通会計予算)

単位:千円

区 分	職員数 A	給 与 費			計 B	1人当り給与費 B/A
		給 与	諸手当	期末勤勉手当		
平成15年度	人 65	千円 234,696	千円 29,916	千円 100,810	千円 365,422	千円 5,622

(注) 諸手当には退職手当を含みません。給与費は当初予算計上額です。

3 平均給料月額及び平均年齢

単位:円

一般行政職		技能労務職	
平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
円 309,300	歳 40.6	円 294,300	歳 50.1

4 初任給

単位:千円

区 分	決定初任給	採用2年経 過日給料額
一般行政職	大学卒	171,500
	高校卒	139,500

5 経験年数別・学歴別平均給料月額

単位:円

区 分	学 歴	経験年数		
		10年	15年	20年
一般行政職	大学卒	237,200	280,700	319,100
	高校卒	200,200	238,700	280,700

(注) 経験年数とは、採用後の年数をいいます。

6 一般行政職の級別職員数(平成15年4月1日現在)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	計
職 名	主事補 技師補	主事・技師	主任主事 主任技師	主査	主査	補佐 主幹	課長 参事	課長	
職員数 人	1	4	16	13	6	11	6	2	59
構成比 %	1.7	6.8	27.1	22.0	10.2	18.6	10.2	3.4	100

7 職員手当の状況(平成15年4月1日現在)

区 分	期 末 手 当		勤 勉 手 当	
	村	国	村	国
6月期	1.55月	1.55月	0.70月	0.70月
12月期	1.70月	1.70月	0.70月	0.70月
計	3.25月	3.25月	1.40月	1.40月
勤続年数	退 職 手 当			
	自己都合		勲奨・定年	
	村	国	村	国
	20年	21.0月分	21.0月分	28.87月分
25年	33.75月分	33.75月分	44.55月分	44.55月分
35年	47.5月分	47.5月分	62.7月分	62.7月分
最高限度額	60.0月分	60.0月分	62.7月分	62.7月分

8 特別職の給料等(平成15年4月1日現在)

区 分	役 職	給料月額等
給 料	村 長	745,000円
	助 役	601,000円
	収入役	574,000円
	教育長	574,000円
報 酬	議 長	290,000円
	副 議 長	217,000円
	議 員	201,000円
期末手当	村 長	6月期 1.70月
		12月期 1.80月
	収入役	計 3.50月
		議 長
	副 議 長	12月期 1.80月
	議 員	計 3.50月

9 部門別職員数(各年4月1日現在)

区 分	職 員 数	平成14年	平成15年	増減数
一般行政部門	議 会	2	2	0
	総 務	15	15	0
	税 務	4	4	0
	民 生	5	5	0
	衛 生	5	5	0
	農林水産	12	12	0
	工 本	7	7	0
小 計	50	50	0	
特別行政部門	教 育	13	13	0
公営企業部門	病 院	21	22	1
	国 保	1	1	0
	介 護	1	1	0
合 計		86	87	1

諸塚村職員の定員の状況等を公表します

1 部門別職員数の状況(平成15年4月1日現在)

部 門	職 員 数		対前年増減数	備 考
	平成14年	平成15年		
一般行政	議 会	2	2	
	総務企画	15	15	
	税 務	4	4	
	民 生	5	5	
	衛 生	5	5	
	農林水産	12	12	
	土 木	7	7	
	小 計	50	50	
特別行政	教 育	13	13	
	小 計	13	13	
公営企業等	病 院	21	22	1 管理栄養士1増
	国保・介護	2	2	
	小 計	23	24	
合 計	86	87		

(注) 職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者派遣職員を含み、臨時又は非常勤職員を除いています。

2 定員適正化目標

平成16年度までに50人(一般行政)とする。

3 定員適正化手法の概要

- (1) 事務事業の見直し
- (2) 事務の民間委託
- (3) 電算化の推進

4 定員適正化計画の年次別進歩(実績)状況

平成15年4月1日現在

部 門	区 分	年 度					備 考
		11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	
議 会	増 減						
	職員数	2	2	2	2	2	2
総務企画	増 減		△2	1	△1		
	職員数	17	15	16	15	15	15
税 務	増 減				1		
	職員数	3	3	3	4	4	4
民 生	増 減	—	1		△3		
	職員数	7	8	8	5	5	5
衛 生	増 減			1			
	職員数	4	4	5	5	5	5
農林水産	増 減	—		△1	△2		
	職員数	15	15	14	12	12	12
土 木	増 減	—		△2	1		
	職員数	8	8	6	7	7	7
計	増 減		△1	△1	△4		
	職員数	56	55	55	50	50	50

諸塚短歌会

平成十五年八月作品 (兼題：川)

すぎとほる川に放せし鮎の稚魚流れの中に嬉々と散りゆく
義足つけしハンディーのりこえ勝利せし球児に大きな拍手送れり

西田 ちは

夏来たる小川の底にきらきらと魚群れなして白き腹見せる 平田カツ子

雨水の流れに乗りて木の葉舟たまりに止まりくるくるまわる

泳ぎより上がりて来たるごとき汗振り払いつつ杉の草刈る

成松 清則

セミの声天の岩戸の溪流の音に混じりてかすかに聞こゆ
山本 正士

脱皮終えし羽根柔らかき松蟬を手に乗せて見る朝の山路に

川細く白き急流見下ろすは神都高千穂に成りし新橋

鮎つりし若き日もある川なれど友と語りし石見当たらず

藤田 米夫

急流にその名をはせし耳川もダムなりていま水鳥浮かぶ 菊池 ゆき

蛩住む川にと改修叶いたりホテル掌に持つ指間の灯り

悠久の流れに親しみ半世紀耳川は我が人生の友

甲斐 みね

おこたりに磨かざりせば光ある玉も瓦と同じなりけり
土持 保夫

長雨に水嵩増えし耳川に十六夜の月の影ゆれやまず

限りなく過去と未来が有る如く川の流れは季毎に変わる

浅田 照代

谷深く一筋の川蛇行して水面真白く光を反す
黒木伊知雄

梅雨晴れに動かす椎茸木の梢の裏べつとり吸いつく蛎蟪必死

ダムの水溢れたるらし放水のサイレンの音闇に消えゆく

尾形 森衛

家代祇園さんのひなまつり
乙女二人の華麗な舞に、観衆の
目が釘付けになつて居る様子が目
に浮かびます。(モデルは見原敬子
さん・黒木美香さん)

とうとうと流れる川の岩に立ちしぶきかかりて暑さ忘るる

幾世代流れし川ぞ岸の奇岩ひとの及ばぬ枝を残して

佐藤モモエ

写真提供は、堀川國廣さんでし
た。



家代祇園さんのひなまつり

乙女二人の華麗な舞に、観衆の
目が釘付けになつて居る様子が目
に浮かびます。(モデルは見原敬子
さん・黒木美香さん)

写真提供は、堀川國廣さんでし
た。